

新聞読んだ考えた

2026年6月17日付11面 / 「結婚の平等」実現に理解を
性的マイノリティーや同性婚への理解を促すパネル展が青
森市で開催された。同性婚を巡る訴訟の歩みや当事者の声
を紹介し、多様性の尊重を呼びかけた。

八戸学院光星高校1年 しみず かなで
清水 奏音さん

私はこの記事を読んで、結婚の平等について考える必要があると思いました。同性同士でも異性同士でも、お互いを大切に思っ
て一緒に生きていきたいという気持ちは変わらないと思います。
婚姻制度が使えず、結婚できずに不便な思いや不安を抱えている人がいることを知り、とても驚きました。また、このような問題はニュースで見るだけで



マイノリティーに理解

はあまり実感がわきませんが、このパネル展のように当事者の声や経験を語ることで、より身近な問題として考えられると思いました。
人それぞれ考え方や価値観は

違いますが、お互いを否定するのではなく、まずは知ろうとすることが大切だと感じました。私も、性的マイノリティーについて、正しい知識を身につけて、偏見を持たずに接することを心がけたいです。そして、みんなが自分らしく生活できる社会になるように、一人一人が理解を深めていくことが必要だと思います。

「新聞読んだ考えた」投稿規定

- | | |
|-------|---|
| 対 象 | 小学生～大学生 |
| 送 付 物 | ①選んだ記事の要約(100字以内)
②感想文(400字以内)
③顔写真 ④応募者情報
※専用応募用紙あり |
| 応募方法 | 郵送、メール、投稿フォームのいずれか |
| 謝 礼 | 記事ラミネート、図書カード1000円 |

応募・問い合わせ先

東奥日報社
販売局NIE・NIB推進部
〒030-0180
青森市第二問屋町3-1-89
電 話 017-739-1106 (平日9～17時) 詳しくはこちら
メール nie3189@toonippo.co.jp
※投稿後、担当者が感想文の内容を確認して連絡します。また、趣旨を変えないように記事の修正をする場合があります

